

@Handy

(アットハンディ)

概要書



2016年6月13日

株式会社フューチャーアプリケーション

目次

1. @Handyのご紹介	3
2. システム構成	4
3. アプリの機能構成	5
4. 画面説明 - ハンディタミナル機能 -	
(1) 画面推移	6
(2) インストール直後の画面	7
(3) メニュー画面	8
(4) ヘッダー入力画面	9
(5) 明細入力画面	10
(6) バーコード読取画面	11
(7) コード手入力画面	12
(8) 点数修正画面	13
(9) データ送信画面	14

目次

(10) 端末毎設定画面	15
(11) 基本設定画面	16
(12) ヘッダー設定画面	17
(13) ヘッダー項目設定画面	18
(14) 送信・受信設定画面	19
(15) 基本設定情報受信画面	20
(16) ロックパスワード設定画面	21
(17) 基本設定アップロード画面	22
(18) 機能説明画面	23
(19) 機能制限解除画面	24
<small>(フリー版のみ)</small>	
4. 画面説明 - アプリ連携機能 -	
(1) 単発読取り	25
(2) 明細画面連携	26

1 .@Handyのご紹介

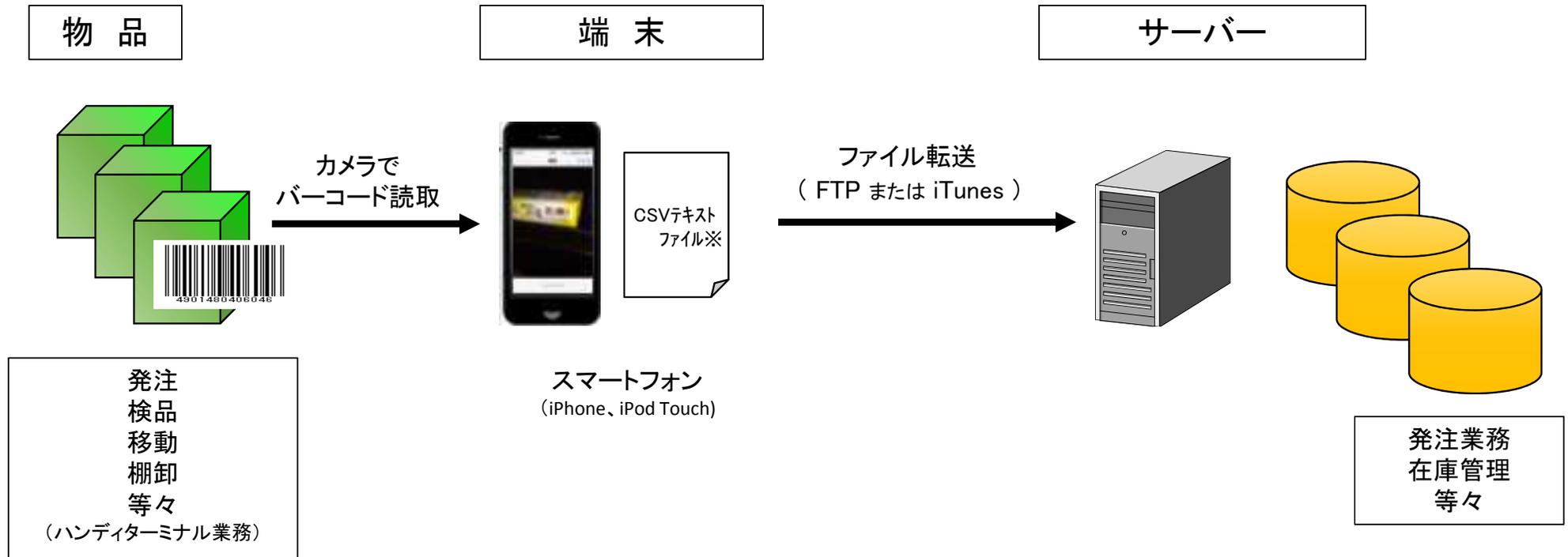
@Handyは、iPhoneやiPod Touchで、ハンディターミナル業務を行なうことができるアプリです。発注・検品・移動・棚卸など、ハンディターミナルの代表的な業務が、プログラム開発なしで、すぐに利用出来ます。

◆特徴◆

- ・カメラでバーコードを高速に読み取ります。
外付スキャナーは不要です。
- ・バーコードは、JAN/UPC/ITF/CODE39/NW7が読み取れます。
- ・「発注」「棚卸」などの業務の種類が最大9種類まで設定できます。
- ・発注などの各業務ごとに「発注日付」「納品日付」などの入力項目が、最大4個まで設定できます。
- ・入力したデータを、パソコンやサーバーに転送できます。
(CSVテキストファイルで転送、FTPまたはiTunesのファイル共有機能を使用)
- ・基本設定情報をサーバーにアップロードし、その情報を別の端末にダウンロードできます。
端末の台数が多い場合、セットアップ作業を大幅に軽減できます。
- ・パスワードによる設定のロック機能があります。
- ・別のアプリにバーコード読取機能を組み込めます。
(X-CALLBACK-URL仕様に準拠したURLスキームで連携)
例えば、読み取ったバーコードの情報を、FileMakerアプリに取り込む等の活用ができます。

※フリー版の場合、一度に入力できる明細件数20件、X-CALLBACK-URL連携回数20回の制限があります。ご購入いただくと、制限を解除できます。

2.システムの構成



※ファイル名はFAHandyScan999999999999.txt

999999999999は、年月日(6桁) + 時分秒(6桁)の計12桁。

(例) 2016年6月10日15時25分30秒の場合、ファイル名は”FAHandyScan160610152530.txt”

3.アプリの機能構成

アプリの主な機能の構成は以下の通りです。

1. ハンディターミナル機能

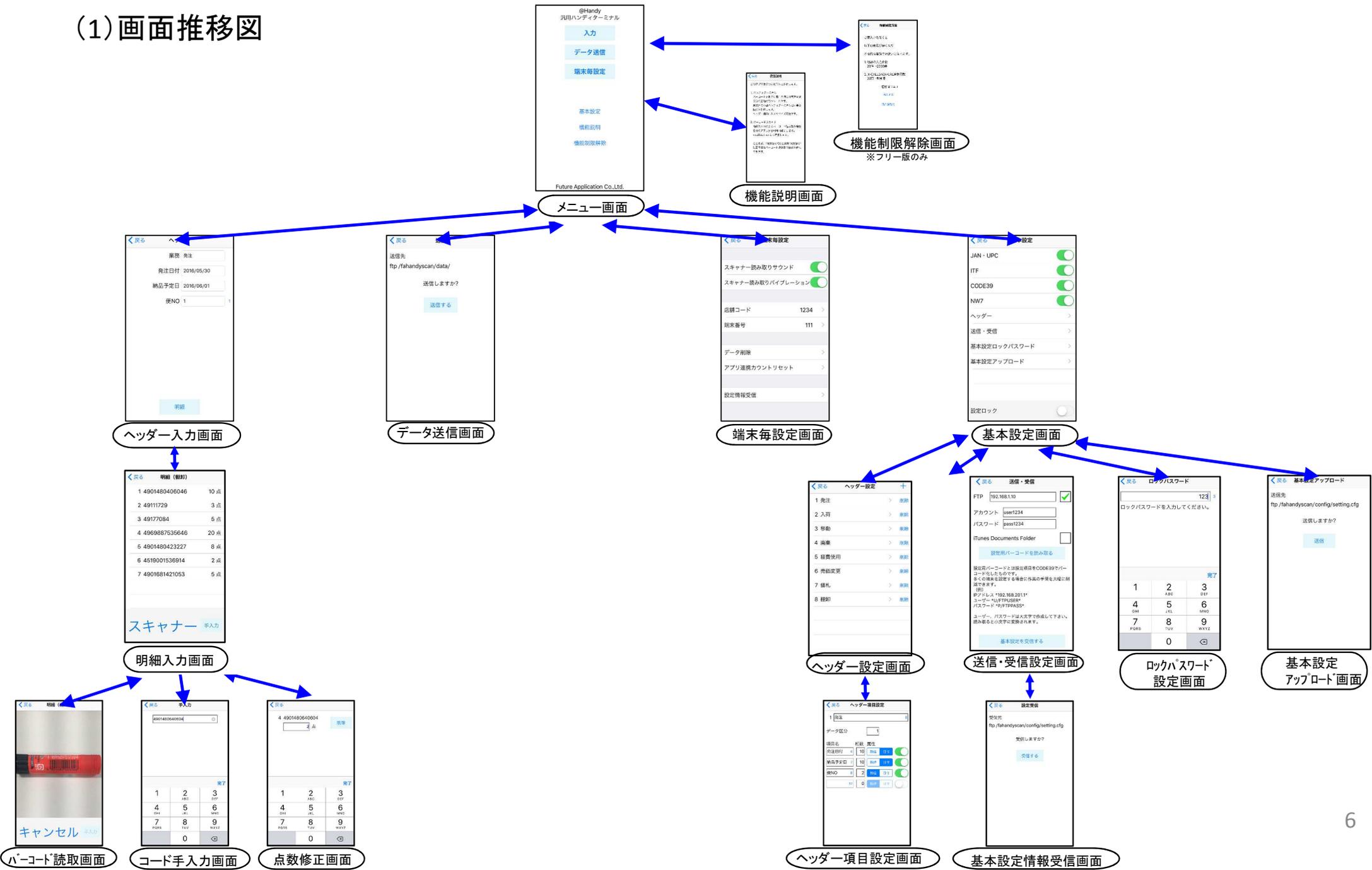
- (1) メニュー画面 メニューから処理を選択する画面です。
- (2) ヘッダー入力画面 データの種類、日付、棚番などの入力をします。
- (3) 明細入力画面 バーコードスキャンと数量を繰り返し入力します。
- (4) データ送信 入力したデータをパソコンやサーバーに送信します。
- (5) 端末毎設定 店舗コードや端末番号等の端末毎設定項目を登録します。
- (6) 基本設定 ヘッダー項目やデータ転送先など共通項目を登録します。

2. アプリ連携機能

- (1) 単発読み取り 1回毎にバーコード機能のみ連携します。
- (2) 明細画面連携 バーコード読取と数量入力を複数回行い、クリップボード経由でデータを別アプリへ送ります。

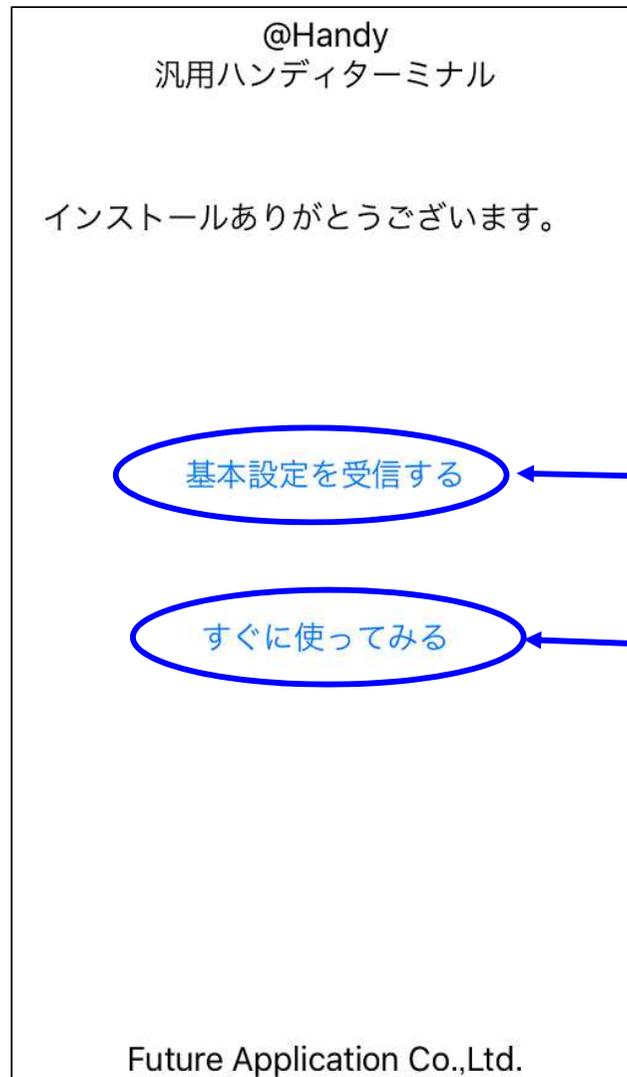
4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(1) 画面推移図



4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(2)インストール直後の画面



【説明】

インストール直後の画面です。

基本設定を受信する

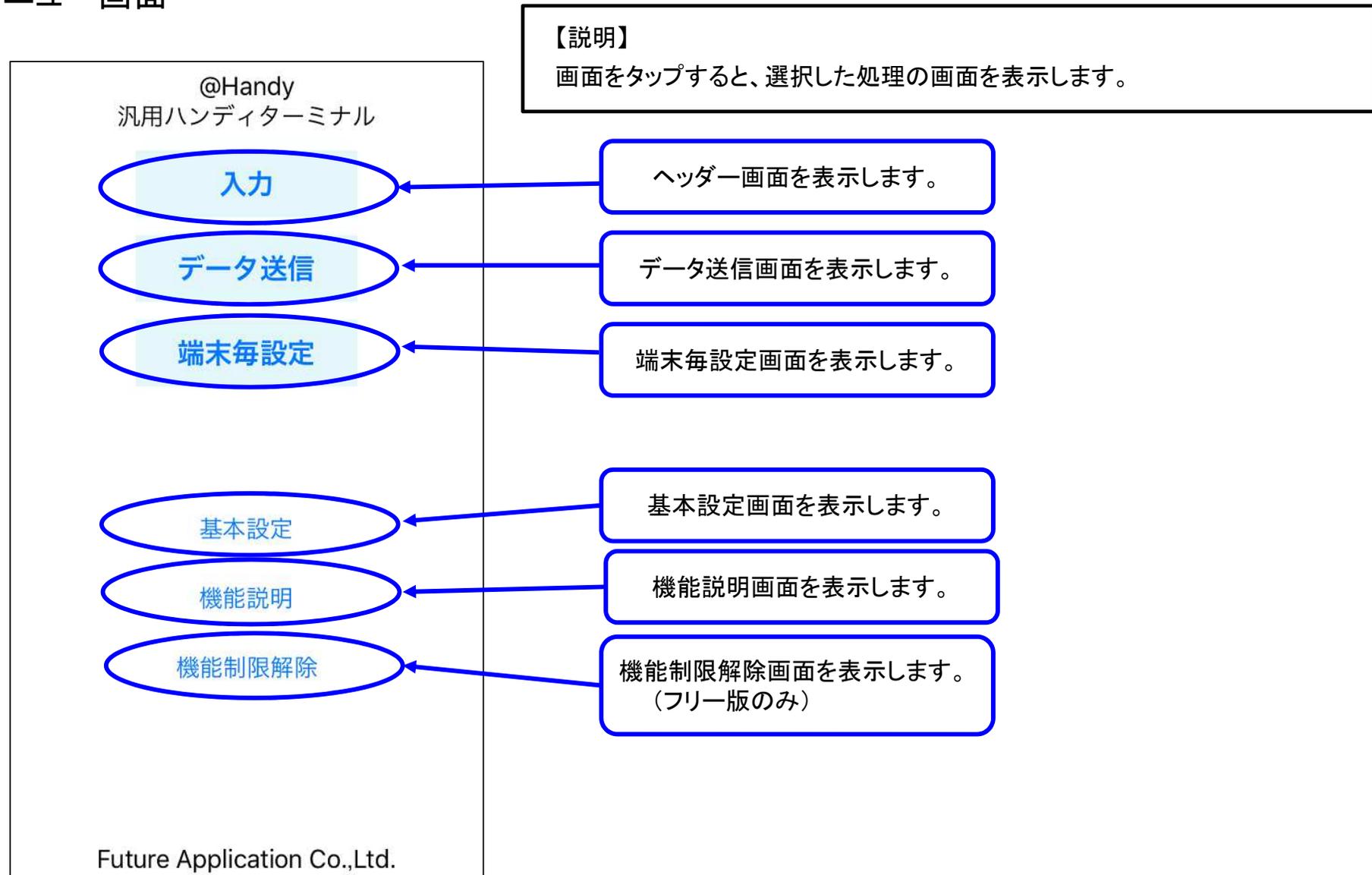
送信・受信設定画面を表示します。

すぐに試してみる

メニュー画面を表示します。
※仮設定で動作します。
メニューから「基本設定」「端末毎設定」を
実行後にご利用下さい。

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(3)メニュー画面



4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(4)ヘッダー入力画面

戻る ヘッダー

業務 発注

発注日付 2016/05/30

納品予定日 2016/06/01

便NO 1

明細

【説明】

業務を選択し、ヘッダー項目を入力します。

「発注」「棚卸」などの業務の切り替えを行います。

ヘッダー項目を入力します。

明細画面を表示します。

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(5) 明細入力画面

< 戻る	明細 (棚卸)	
1	4901480406046	10 点
2	49111729	3 点
3	49177084	5 点
4	4969887535646	20 点
5	4901480423227	8 点
6	4519001536914	2 点
7	4901681421053	5 点
スキャナー		
手入力		

【説明】

バーコードと点数を入力する画面です。

明細を選択すると、点数修正画面を表示します。
※バーコード読取後は、点数は1点です。

バーコードの読取り画面を表示します。

バーコードの手入力画面を表示します。

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(6)バーコード読取画面



【説明】

カメラでバーコードを読み取ります。(一瞬で読み取り)
読取り後は、明細画面へ戻ります。

明細画面に戻ります。

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(7)コード手入力画面

手入力

4901480640604

完了

1	2 ABC	3 DEF
4 GHI	5 JKL	6 MNO
7 PQRS	8 TUV	9 WXYZ
	0	⌫

【説明】

コードを手入力する画面です。

数字をタップし、入力します。

数値を確定し、明細画面に戻ります。

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(8) 点数修正画面

4 4901480640604

削除

2 点

完了

1	2 ABC	3 DEF
4 GHI	5 JKL	6 MNO
7 PQRS	8 TUV	9 WXYZ
	0	⌫

【説明】

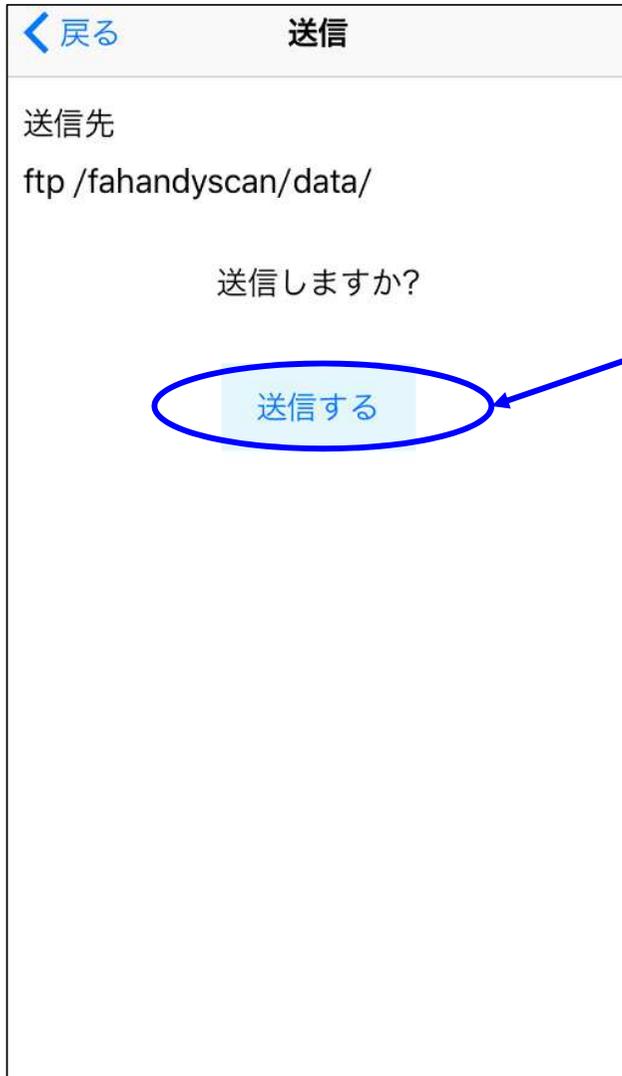
点数を修正する画面です。

数字をタップし、点数を入力します。

数値を確定し、明細画面に戻ります。

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(9) データ送信画面



【説明】
サーバーへ入力データを送信する画面です。
データはCSVテキストファイルで送信します。

ボタンをタップすると、処理を開始します。

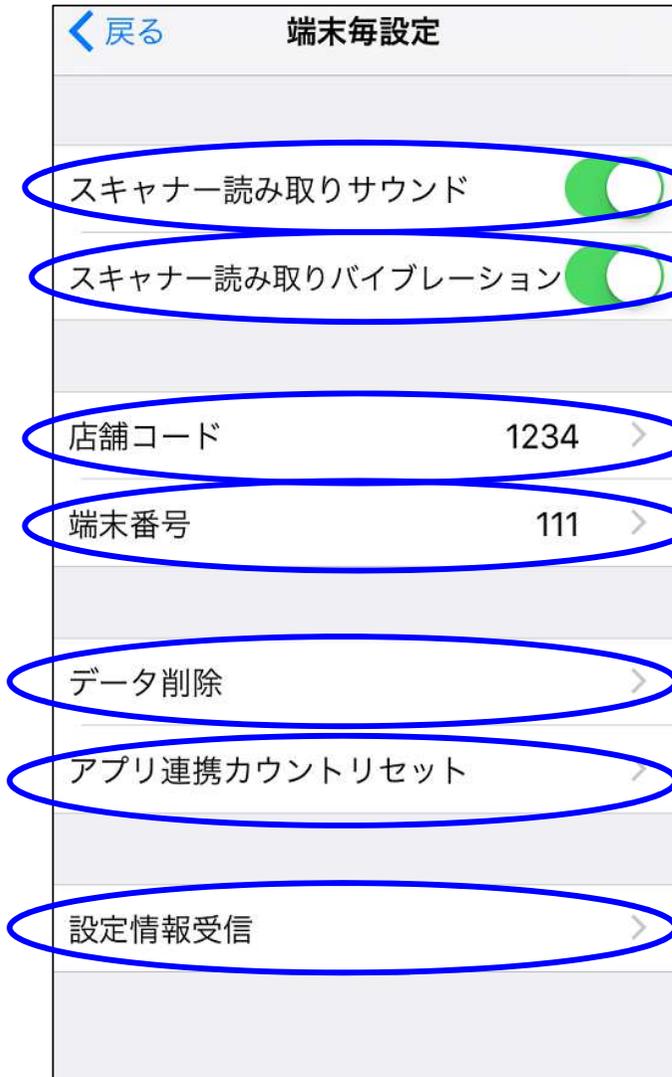
- ・FTPの場合
サーバーへのデータ送信を開始します。
- ・iTunesの場合
iTunes Documents Folderに送信用ファイルを作成します。

★サーバーへ送信するCSVテキストファイルの例

```
"1001","001","1","2016/06/07","2016/06/08","1","","1","49747140","10"  
"1001","001","1","2016/06/07","2016/06/08","1","","2","4901480406046","20"  
"1001","001","1","2016/06/07","2016/06/08","1","","3","49747157","1"  
"1001","001","1","2016/06/07","2016/06/08","1","","4","49747133","2"  
"1001","001","1","2016/06/07","2016/06/08","1","","5","49111729","1"  
"1001","001","1","2016/06/07","2016/06/08","1","","6","4901681421053","5"  
"1001","001","1","2016/06/07","2016/06/08","1","","7","4987084411273","1"  
"1001","001","1","2016/06/07","2016/06/08","1","","8","4969887535646","1"  
"1001","001","1","2016/06/07","2016/06/08","1","","9","4987035021216","1"  
"1001","001","1","2016/06/07","2016/06/08","1","","10","4987035230618","1"  
.  
.  
.
```

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(10) 端末毎設定画面



【説明】

端末ごとの項目を設定します。

端末ごとに設定します。(ON・OFF切替)
※基本設定情報受信画面により、サーバーから情報を受信することもできます。

端末ごとに入力します。

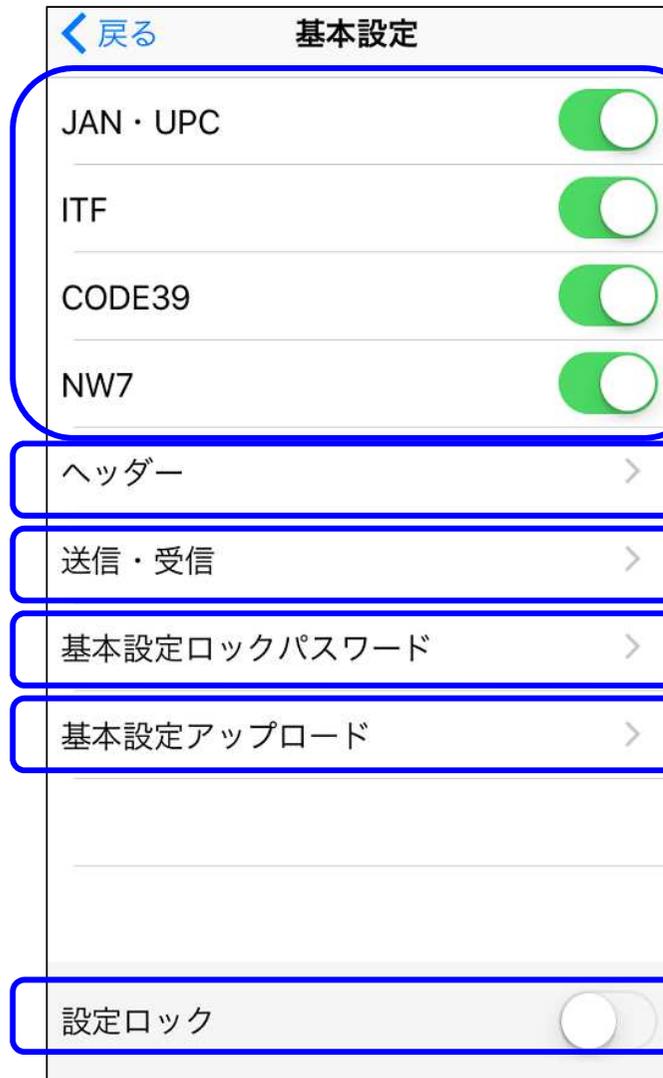
入力したデータをサーバーに送信せず、削除します。

アプリ連携のカウントリセットします。

基本設定情報受信画面を表示します。

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(11) 基本設定画面



【説明】
各端末で共通な項目を設定します。

読取り可能なバーコードを設定します。(ON・OFF切替)

ヘッダー設定画面を表示します。

送信・受信設定画面を表示します。

ロックパスワード画面を表示します。

基本設定アップロード画面を表示します。

基本設定のロックを設定します。(ON・OFF切替)

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(12)ヘッダー設定画面

戻る	ヘッダー設定	+
1 発注	>	削除
2 入荷	>	削除
3 移動	>	削除
4 廃棄	>	削除
5 経費使用	>	削除
6 売価変更	>	削除
7 値札	>	削除
8 棚卸	>	削除

【説明】

ヘッダー(業務の種別)を追加・削除します。

ヘッダー行をタップすると、ヘッダー項目設定画面を表示します。

ヘッダーの削除を確認するメッセージを表示します。

本当に削除しますか？

いいえ

はい

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(13)ヘッダー項目設定画面

【説明】

ヘッダー(業務)ごとに異なる入力項目を設定します。

- ・最大4個まで設定可能です。
- ・日付と数値の2タイプが選択できます。

項目名	桁数	属性
発注日付	4	10 数値 日付 <input checked="" type="checkbox"/>
納品予定日	2	10 数値 日付 <input checked="" type="checkbox"/>
便NO	8	2 数値 日付 <input checked="" type="checkbox"/>
	12	0 数値 日付 <input type="checkbox"/>

データ区分(1~99)

最大4個
まで

項目名
・全角6文字まで
・半角12文字まで

桁数
・数値2桁まで
・日付10桁固定

画面タップで
数値/日付を切替

画面タップで
ON・OFF切替

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(14)送信・受信設定画面

FTPサーバーのアドレス

FTPアカウント(ユーザーID)

FTPパスワード

どちらかを選択

設定用バーコードを読み取る

基本設定を受信する

【説明】

サーバーとの通信情報を設定します。

手入力のほかに、以下の方法でも設定できます。
多くの端末を設定する場合に作業負担を大幅に軽減できます。

- ・ 設定用バーコード(CODE39)を作成し、カメラから読取ることができます。
- ・ サーバーから情報を受信することができます。

バーコード読取り画面を表示します。読取り後は、送信・受信設定画面に戻ります。

設定用バーコードの例 ※注

FTPサーバーのIPアドレス



アカウント(ユーザーID)



パスワード

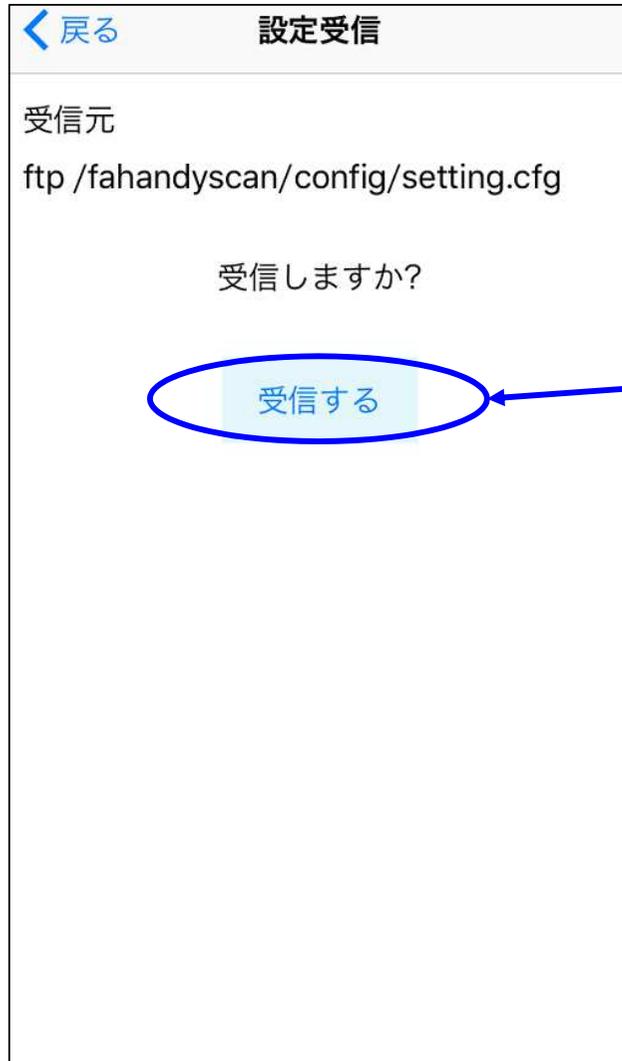


※注 アカウントとパスワードは大文字で作成してください。

基本設定情報受信画面を表示します。

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(15)基本設定情報受信画面



【説明】

各端末で共通な設定項目の情報をサーバーから受信します。

ボタンをタップすると、処理を開始します。

- FTPの場合
サーバーからのデータ受信を開始します。
- iTunesの場合
iTunes Documents Folderの基本設定情報ファイルを読み込みます。

★サーバーから受信するファイル(setting.cfg)の例

```
JANUPC=YES
ITF=NO
CODE39=YES
NW7=NO
SOUND=YES
VIBRATION=YES
HEADER1=発注
HEADER2=入荷
HEADER3=移動
HEADER4=廃棄
HEADER5=経費使用
HEADER6=売価変更
HEADER7=値札
HEADER8=棚卸
HEADER9=検品
HEADER1_CATEGORY=1
HEADER2_CATEGORY=2
HEADER3_CATEGORY=3
HEADER4_CATEGORY=4
HEADER5_CATEGORY=5
HEADER6_CATEGORY=6
HEADER7_CATEGORY=7
HEADER8_CATEGORY=8
HEADER9_CATEGORY=9
HEADER1_ITEM=発注日付,10,DATE,納品予定日,10,DATE,便NO,2,NUMERIC
HEADER2_ITEM=入荷日付,10,DATE,仕入先,7,NUMERIC
HEADER3_ITEM=移動日付,10,DATE,移動先,3,NUMERIC
HEADER4_ITEM=廃棄日付,10,DATE
HEADER5_ITEM=計上日付,10,DATE
HEADER6_ITEM=適用日付,10,DATE
HEADER7_ITEM=売価日付,10,DATE,値札区分,1,NUMERIC
HEADER8_ITEM=棚卸日付,10,DATE,棚番,5,NUMERIC
HEADER9_ITEM=検品日付,10,DATE
FTP=192.168.201.1
FTPPASSWORD=ftppuser
FTPPASSWORD=xxxxxxx
METHOD=FTP
```

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(16)ロックパスワード設定画面

戻る ロックパスワード

123

ロックパスワードを入力してください。

完了

1	2 ABC	3 DEF
4 GHI	5 JKL	6 MNO
7 PQRS	8 TUV	9 WXYZ
	0	< x

【説明】

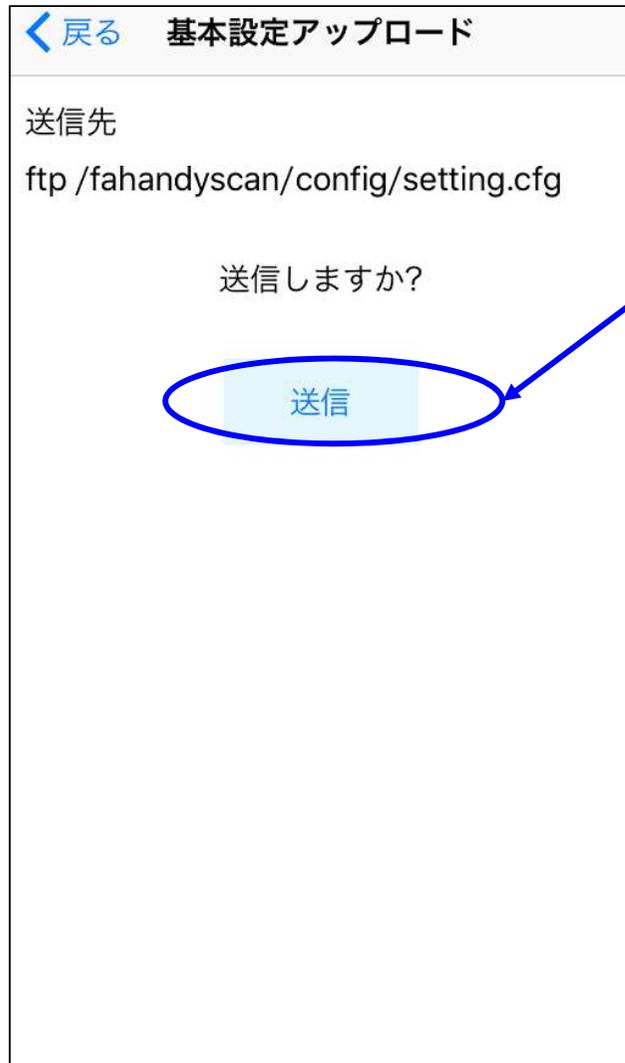
基本設定画面をロックするパスワードを設定します。

数字をタップし、パスワードを入力します。(1~6桁)

数値を確定し、基本設定画面に戻ります。

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(17)基本設定アップロード画面



【説明】

端末で設定した基本設定を、サーバーにアップロードします。

ボタンをタップすると、処理を開始します。

- FTPの場合
サーバーへのデータ送信を開始します。
- iTunesの場合
iTunes Documents Folderに送信用ファイルを作成します。

★サーバーへ送信するファイル(setting.cfg)の例

```
JANUPC=YES
ITF=NO
CODE39=YES
NW7=NO
SOUND=YES
VIBRATION=YES
HEADER1=発注
HEADER2=入荷
HEADER3=移動
HEADER4=廃棄
HEADER5=経費使用
HEADER6=売価変更
HEADER7=値札
HEADER8=棚卸
HEADER9=検品
HEADER1_CATEGORY=1
HEADER2_CATEGORY=2
HEADER3_CATEGORY=3
HEADER4_CATEGORY=4
HEADER5_CATEGORY=5
HEADER6_CATEGORY=6
HEADER7_CATEGORY=7
HEADER8_CATEGORY=8
HEADER9_CATEGORY=9
HEADER1_ITEM=発注日付,10,DATE,納品予定日,10,DATE,便NO,2,NUMERIC
HEADER2_ITEM=入荷日付,10,DATE,仕入先,7,NUMERIC
HEADER3_ITEM=移動日付,10,DATE,移動先,3,NUMERIC
HEADER4_ITEM=廃棄日付,10,DATE
HEADER5_ITEM=計上日付,10,DATE
HEADER6_ITEM=適用日付,10,DATE
HEADER7_ITEM=売価日付,10,DATE,値札区分,1,NUMERIC
HEADER8_ITEM=棚卸日付,10,DATE,棚番,5,NUMERIC
HEADER9_ITEM=検品日付,10,DATE
FTP=192.168.201.1
FTPACCOUNT=ftpuser
FTPPASSWORD=xxxxxxx
METHOD=FTP
```

4.画面説明 — ハンディターミナル機能 —

(18)機能説明画面

[← 戻る](#) 機能説明

このアプリは2つの機能をご提供します。

1. ハンディターミナル
バーコードを利用し商品や備品の管理を効率良く正確に行うツールです。
業務用の小型ハンディターミナルと同等な機能を提供します。
ヘッダー項目はカスタマイズ可能です。
2. バーコードスキャナ
内蔵カメラによるバーコード読み取り機能を他のアプリから利用可能にします。
x-callback-urlにて連携します。

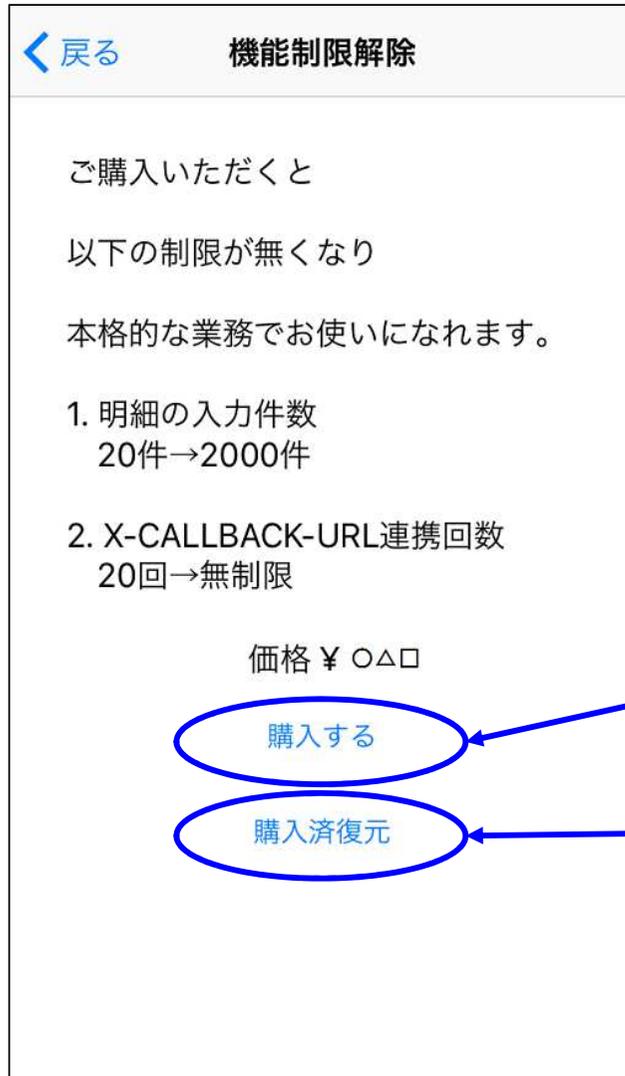
たとえば、FileMakerGoと連携FileMakerに高性能なバーコード読み取り機能を付加できます。

【説明】

@Handyの機能を説明する画面を表示します。
※バージョンアップなどにより、説明文は変更される可能性があります。

4.画面説明 - ハンディターミナル機能 -

(19)機能制限解除画面(フリー版のみ)



【説明】

購入手続きを行う画面です。
ご購入いただくと、制限が解除されます。
※価格は、実際の価格が表示されます。

購入手続きを行います。

購入後に、誤ってアプリを削除してしまった場合に、
復元処理を行います。

5.画面説明 - アプリ連携機能 -

(1) 単発読取り

【説明】

1回のバーコードスキャン機能のみを連携します。
スキャン直後に連携するアプリを指定URLで呼び出して戻ります。

FileMakerとの連携の例



5.画面説明 - アプリ連携機能 -

(2) 明細画面連携

【説明】

バーコード読み取りと数量入力を複数回行い、クリップボード経由でデータを別アプリへ送ります。

FileMakerとの連携の例



**最後までご覧いただき、
ありがとうございました。**

